

Kirari Fujimi Concert Series

キラリふじみ・
ニューイヤー
コンサート2024

J.S.バッハ：
イタリヤ協奏曲 ヘ長調 BWV971

ブラームス：
チェロ・ソナタ第2番 ヘ長調 Op.99

ブラームス：
ハンガリー舞曲集 WoO1 より
第4番 ヘ短調 第5番 嬰ヘ短調
第6番 変ニ長調 第19番 ロ短調
第20番 ホ短調 第21番 ホ短調

— Pause —

ドヴォルジャーク：
スラヴ舞曲集 より
第1集 第8番 ト短調
第2集 第2番 ホ短調 / 第8番 変イ長調

ドヴォルジャーク：
ピアノ五重奏曲 イ長調 Op.81

プレコンサート

14:15 開演

ベートーヴェン

ヴァイオリン・ソナタ第3番 変ホ長調 Op.12-3

Vn: 荻原緋奈乃 Pf: 朴 沙彩

1 / ^{sun} 28 15:00 開演
(14:00 開場)

※プレコンサート中はロビー開場になります。

富士見市民文化会館
キラリ☆ふじみ
メインホール

異国への憧れ、
祖国への愛着…

*Kyoko
Ogawa*

*Yurina
Otsuka*

*Tatsuki
Sasanuma*

*Ayako
Tahara*

*Kaoru
Jitsukawa*

*Toshihiro
Kaneshige*

New Year Concert 2024

異国への憧れ、祖国への愛着…

クラシック音楽の作品の中には、異国への憧れやイメージ、異国の思い出を曲に綴ったものが非常に多い。ある意味当然で、一般人が旅するという習慣も交通網もまだ発達していない時代に主に馬車で旅ができたのは彼らの特権でもあった（シューベルトは生涯ウィーンの街から外へ出ることはなかった）。作曲家は旅先での印象を、我々がSNSにアップするように、曲としてまとめ、作品として発表した。19世紀も半ばを過ぎると交通手段は急速に発展、人々の移動がより活発になったが、今度は異郷の地に住んで祖国への想いを曲にしたためていくケースも当然増えていった。我々の生活も日常に戻りつつあるなか、今回はそんな作曲家の、異国への憧れや祖国へのこだわりを感じさせる作品を核にプログラミングしてみた。

プログラムの中核となるのはブラームス。日照時間の少ない北ドイツ・ハンブルク生まれの彼は、イタリアをはじめとする南への憧憬がとりわけ強かったことで知られている。《チェロ・ソナタ第2番 へ長調》は、ピアノ協奏曲第2番ほどにはイタリアへの憧れを感じさせはしないが、それでも全体の基調が彼の作品の中にあっては特異ともいえるほど明るいパッションに満ちている。毎年1曲ずつベートーヴェン作品に挑んでもらってきた笹沼樹に、ベートーヴェンは小休止してもらってこの曲を演奏してもらうことにした。ドイツ的でありながら明るさを湛えた兼重稔宏のピアノはまさにこの曲にうってつけ、この2人の共演で新たな魅力を発見していただきたい。

ドヴォルジャークは、ウィーンの音楽界に君臨していたブラームスを慕ってボヘミアから会いに行く。ブラームスは、ドヴォルジャークの才能を買って自身の作品を出版しているジムロックに紹介、ジムロックはドヴォルジャークに対し、若きブラームスの

出世作（楽譜が大ヒットした）である《ハンガリー舞曲集》のような作品を書きなさいと勧め《スラヴ舞曲集》が作曲された。ブラームスとドヴォルジャークの絆を示すようなこの2つの曲集をピアノ連弾でお楽しみいただこう。ちなみにブラームス《ハンガリー舞曲集》の第19番～21番をオーケストラ用に編曲したのはドヴォルジャーク。コンサートの前にオーケストラ版を聴いてから来場されるのも一興だ。

メインとなるプログラムは、ドヴォルジャーク《ピアノ五重奏曲イ長調》。彼の室内楽の傑作で曲中にスラヴの民謡や舞曲がさまざま息づく。2023年ニューイヤーでヤナーチェクの好演が印象深いヴァイオリンの小川恭子をリーダーに、キラリ初登場となる大塚百合菜、5年連続出演となる田原綾子、笹沼樹らが真新しい気持ちでこの名作に挑む。

コンサートは今年もJ.S.バッハで始めることとした。ニューイヤーコンサートの幕開けにはバッハがよく似合う。それは彼の作品が、演奏家や作曲家の主観に強く彩られすぎず、ある種の抽象性を保っていることや、まだ神が広く信じられていた時代に生まれた音楽だということに拠るのかもしれない。日本のピアニストはJ.S.バッハを苦手とする奏者が多いように思うが、實川風はバッハに強く心惹かれ、その魅力を伝えるピアニストだ。

また、新たな試みとして今回は次世代の若手によるプレコンサートを加えてみた。プログラムから抜けてしまったベートーヴェンへの直球勝負ということで、高校1年生の荻原絆奈乃さんと高校2年生の朴沙彩さんによる初共演をお届けする。未来を拓く若き才能をひと足早く、ここキラリ☆ふじみでキャッチするのも、新年のまた大きな楽しみとなりますように…。

西巻 正史

ニューイヤーコンサート2024

J.S.バッハ イタリア協奏曲 へ長調 BWV971 實川 風(Pf)
ブラームス チェロ・ソナタ第2番 へ長調 Op.99 笹沼 樹(Vc) 兼重稔宏(Pf)
ブラームス ハンガリー舞曲集 WoO1 より
第4番 へ短調 第5番 嬰へ短調 第6番 変ニ長調 第19番 口短調 第20番 ホ短調 第21番 ホ短調
實川 風、兼重稔宏(Pf)

— Pause —

ドヴォルジャーク スラヴ舞曲集 より 第1集 第8番 ト短調 第2集 第2番 ホ短調／第8番 変イ長調 實川 風、兼重稔宏(Pf)

ドヴォルジャーク ピアノ五重奏曲 イ長調 Op.81 小川恭子、大塚百合菜(Vn) 田原綾子(Va) 笹沼 樹(Vc) 兼重稔宏(Pf)

桐朋学園大学を首席で卒業後、修士課程修了。辰巳明子、スイスでザハール・ブロンに師事。英国王立音楽院に交換留学しジェルジ・パウクの指導を受けた他、明治安田QOL文化財団海外音楽研究生としてウィーン国立音楽大学に留学、ローター・シュトラウスに師事。第84回日本音楽コンクール、第8回ノヴォシビルスク国際コンクール等優勝、第5回ルイ・シュポア国際コンクール第2位他受賞多数。オーケストラとの共演の他欧州含む各地で演奏。使用楽器は、文京楽器の協力でBear's International Societyより貸与されているG.Cappa。



小川恭子
ヴァイオリン

桐朋学園大学音楽学部卒業、リューベック音楽大学大学院修了。ドイツ国家演奏家資格取得。これまでにヴァイオリンを辰巳明子、トーマス・ブランディス、ダニエル・ゼベックらに、室内楽をハイメ・ミュラーに師事。第59回全日本学生音楽コンクール第1位。第6回ルイ・シュポア国際コンクール特別賞。東京フィルハーモニー交響楽団、プフォルツハイム室内管弦楽団、リューベック・フィルハーモニー管弦楽団等と共演。チャンネル・ピグマリオン・デイズ2011参加アーティスト。2019年度紀尾井ホール室内管弦楽団シーズンメンバー。



大塚百合菜
ヴァイオリン

桐朋学園大学音楽学部卒業、同大学院大学修了。パリ・エコールノルマル音楽院、デトモルト音楽大学を首席で修了。これまでに藤原浜雄、岡田仲夫、ブルーノ・パスキエ、ファイト・ヘルテンシュタインらに師事。第11回東京音楽コンクール第1位、第9回ルーマニア国際音楽コンクール優勝、第23回ホテルオークラ音楽賞ほか受賞多数。これまでに読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団等と共演。宮崎国際音楽祭、武生国際音楽祭などに出演。使用楽器は、サントリー芸術財団貸与のPaolo Antonio Testore。



田原綾子
ヴァイオリン

桐朋学園大学ソリスト・ディプロマ・コース修了。学習院大学文学部卒業。桐朋学園大学大学院修士課程、同大学修士修了後履修生修了。NHK交響楽団アカデミー修了。現在、パリ・エコールノルマル音楽院在籍。東京交響楽団客演首席チェロ奏者。これまでにヴァーツラフ・アダミーラ、古川展生、堤剛、磯村和英、山崎伸子、アンリ・デュマルケットらに師事。東京音楽コンクール第2位、日本音楽コンクール入選、ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール第1位ほか受賞多数。またカルテット・アマービレとして、ARDミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門第3位。使用楽器は1771年製C.F.Landolfi(宗次コレクション)。



笹沼 樹
チェロ

東京芸術大学卒業、ライプツィヒ音楽演劇大学修士課程および演奏家課程を最高点にて修了。これまでに、渡辺健二、上野真、ゲラルド・ファウトらに師事。ポローニャ音楽祭、ブダペストの春音楽祭などに出演したほか、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス大ホール、ドレスデン・ゼンパーオーパー、コロッセオ(ポルトガル)など欧州の主要なコンサートホールにて演奏を行う。ライプツィヒ音楽演劇大学で講師を務めた後、現在は東京芸術大学、京都市立芸術大学、名古屋音楽大学にて後進の指導にあたる。



兼重稔宏
ピアノ

東京芸術大学附属高校を経て、東京芸術大学を首席で卒業、同大学院修了。これまでに山田千代子、御木本澄子、多美智子、江口玲らに師事。グラーツ国立音楽大学ポストグラデュエート課程を修了、マルクス・シルマーに学ぶ。2015年ロンティボー・クレスパン国際コンクール第3位(1位なし)。16年、カラーリョ国際ピアノコンクール(イタリア)第1位。上海音楽祭、ソウル国際音楽祭、ノアン・ショパンナイト(フランス)、アルソノーレ(オーストリア)などで演奏。



實川 風
ピアノ

公開リハーサル 2024年1月27日(土) 14:00~14:45

ニューイヤーコンサート2024のリハーサルに、小さなお子様連れのみなさまをご招待します。

お子様とともに、本番さながらに熱のこもった演奏を繰り広げる公開リハーサルをご堪能ください。

対象 未就学児を持つご家族

申込期間 2023/11/18(土)~2024/1/10(水)必着

定員 50組(応募者多数の場合は抽選)

※原則として未就学児2名までと保護者2名までを「1組」とします。

申込方法 専用の申込用紙にご記入の上、郵送か直接来館にて。

または、専用予約フォームより必要事項をご入力の上お申込みください。

※申込用紙はキラリふじみ館内、市内公共施設、またはホームページからダウンロードいただけます。 ※詳細については応募締め切り後、改めてご連絡いたします。

専用予約
フォーム /



プレコンサート 1月28日(日) 14:15開演

キラリでフレッシュな才能をひと足早くキャッチ

ベートーヴェン

ヴァイオリン・ソナタ第3番 変ホ長調 Op.12-3

荻原緋奈乃(Vn) 朴 沙彩(Pf)



荻原緋奈乃 ヴァイオリン

3歳よりヴァイオリンを始める。これまでに水野佐知香、竹澤恭子、玉井菜採らに師事。第74回全日本学生音楽コンクール東京大会中学校の部第2位、全国大会第2位。第23回日本演奏家コンクール第1位および準グランプリ、併せて神奈川県教育委員会教育長賞。第39回かながわ音楽コンクール部門最優秀賞および神奈川県知事賞(大賞)。これまでに東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川県フィルハーモニー管弦楽団等と共演。東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校1年に在学中。

朴 沙彩 ピアノ

2006年東京生まれ。4歳からピアノを始める。これまでに加藤明子、岡本美智子らに師事。幼少期には、モスクワ音楽院附属中央音楽学校でT.コーラスの指導を受ける。桐朋学園子供のための音楽教室にて学ぶ。19年チェコ音楽コンクールジュニアの部第1位。第6回JPPAピアノコンクール中学生の部金賞。第75回全日本学生音楽コンクール東京大会第1位、および全国大会第1位。23年桐朋ピアノコンペティションおよびコンチェルトコンペティション第2位。桐朋女子高等学校音楽科2年に特待生として在学中。

ニューイヤーコンサート2024公演チケットをお持ちのお客様はプレコンサートをご鑑賞いただけます。

New Year Concert 2024 キラリふじみ・ニューイヤーコンサート2024

◆チケット料金 全席指定席

一般 4,000円	U-25(25歳以下) 3,200円	高校生以下 500円
身体障害者手帳をお持ちの方(窓口・前売のみ) 3,600円		

*公演チケットをお買い求めの方はプレコンサートもご鑑賞いただけます。
※未就学児童の入場はご遠慮ください。
※開演後のご入場は、指定された席にご案内できない場合がございます。

◆申込開始 2023年11月18日(土)

※発売開始当日は、窓口9:00から、web予約10:00から。
電話は翌日からの取扱い。

◆チケット取扱い・お問い合わせ

富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ

〒354-0021 埼玉県富士見市大字鶴馬1803-1

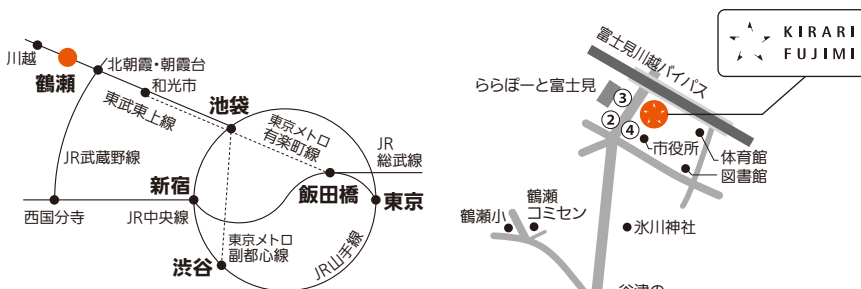
TEL 049-268-7788

(電話予約 9:00-22:00/窓口取扱い 9:00-21:00)



<https://www.kirari-fujimi.com/>
(web予約、販売あり)

◆会場 富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ メインホール



鶴瀬駅まで

- 池袋駅から約29分[東武東上線]
- 新宿駅から約45分[山手線/東武東上線]
- 渋谷駅から約55分[東京メトロ副都心線-東武東上線直通]
- 飯田橋駅から約45分[東京メトロ有楽町線-東武東上線直通]
- 東京駅から約55分[東京メトロ丸の内線/東武東上線]

◆交通のご案内

【電車】東武東上線「鶴瀬駅」まで池袋から準急で29分。①鶴瀬駅東口から東武バスで③「ららぽーと富士見」下車。乗車時間約5分。志木、ふじみ野、大宮各駅からも「ららぽーと富士見」行きバスあり。

【車】富士見川越バイパス「富士見市街出口」を降りてすぐ。富士見市役所隣り。駐車場(無料)は台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



@kirari_fujimi



kirari.fujimi



kirarifujimi

